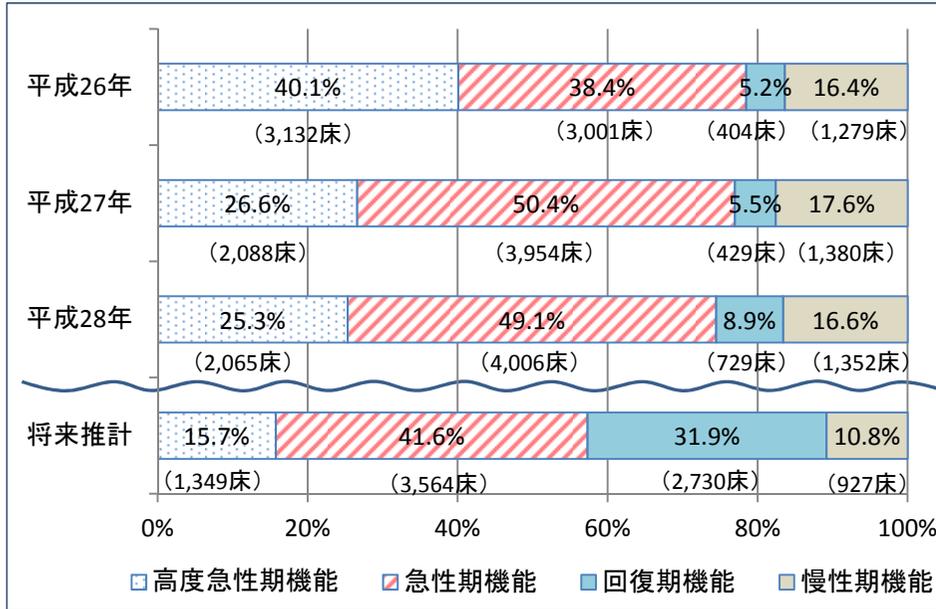
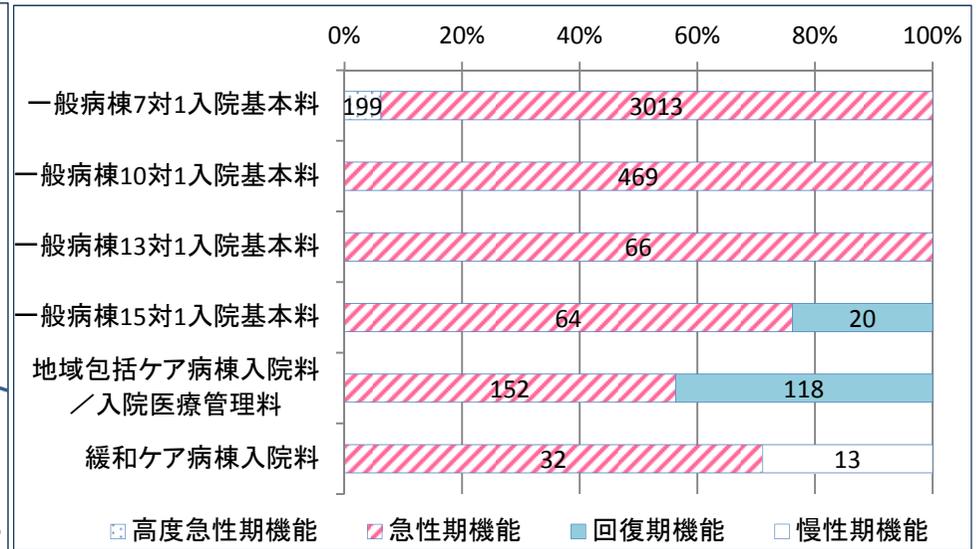


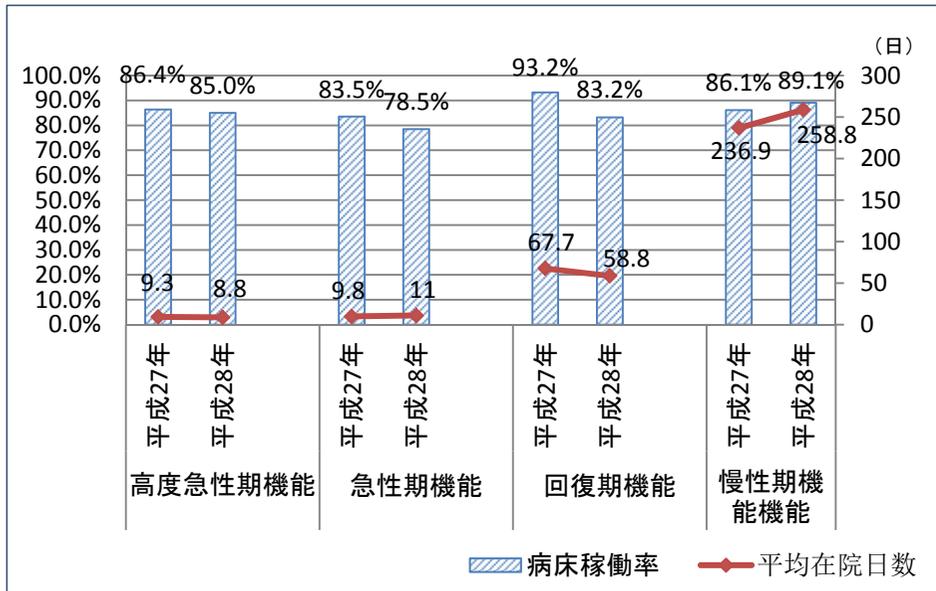
①4機能別病床数の推移(平成26年度～平成28年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度・平成28年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	3703 98.6%	0 0.0%	43 1.1%	11 0.3%
急性期機能	6220 93.0%	29 0.4%	308 4.6%	130 1.9%
回復期機能	219 58.6%	10 2.7%	98 26.2%	47 12.6%
慢性期機能	109 85.2%	3 2.3%	5 3.9%	11 8.6%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 **48.8%**

- ①H27からH28にかけて、回復期機能が増(回復期リハ病床の増)
- ②慢性期機能以外において、病床稼働率が下がっている。
- ③地域包括ケア病棟では、急性期機能と報告した割合がやや多い
- ④回復期機能において、退院後に他施設で在宅医療を提供する患者が多い。
- ⑤退院調整部門を置いている病院の割合が、都平均に比べ低い。